
ある晴れた日に

白梨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある晴れた日に

【Nコード】

N6067E

【作者名】

白梨

【あらすじ】

『普通』の高校生・美嚢白みのしろがある日、家に帰ってくるとそこには知らない少女がいて……。シリアス？それって食べられるの？をモットーとしてみました。でも、たまにシリアスがあるかもしれない。基本的に作者は嘘つきです。*この小説は半分が「こめだい」で出ています。残りの半分は「らぶ」やら「がくえんもの」です。不確定要素で「びんぼー」などがあります。

そのいち いつものにちじょー（前書き）

更新速度、めっちゃくちや遅いです…。

そのいち　いつものにちじょー

桜の花びらがゆらゆらと舞う中、彼女はただただこれからの高校生活に期待をして学校へと続く桜並木を一人で歩いていた。隣に、並ぶようにして歩いていた彼に気づかないまま……。

入学式が終わって二ヶ月そこらが経っていた。その間に友達と呼べる存在がいくらか出来て、俺・美みの囊のう白はくはそれなりに学校生活を楽しんでいた。

まず、俺の朝は同じアパートの隣に住むクラスメートの三さん条じょう季き沙さがドアを叩く音から始まる。

季沙は両親を昔、交通事故で亡くしていて、中学までは叔父叔母の世話になっていたらしいが、迷惑をかけたくないからと、高校に入ってアパートに一人で暮らしているのだ。

因みに俺はどうなのかというと、季沙と同じ一人暮らし。理由はまるで違うのだが……。

ともかく、季沙は極度の世話焼きだったらしく、俺が一人暮らしだと知るや否や俺の不健康だった生活を正し始めた。

例えば、今のように起きる時間は規則正しく、のようにだ。

おかげで色々と助かっているのだから感謝こそすれど文句なんてとてもじゃないが言えない。

「はいはい、今開けるから」

そう言って俺は二重に掛けてある頑丈な鍵とチエーンを外してドアを開いた。季沙かどうかはインターフォンで確認済み。

「おっはよー、白」

「……朝から元気だね」

正直、季沙の朝のテンションの高さにはついていけない。

「それじゃ、さつさと朝食作る、か、ら……」

実は、季沙には朝食も作ってもらっている。

理由は簡単、俺が作らず朝食を抜いていた事を季沙に知られたから。

おかげで朝食を抜く事がその日一日の体内活動にどのように影響するかとかを、数時間懇切丁寧に説かれて危うくトラウマになった。

……ん？ 季沙が先程から俺（の一部）を見てなにやら恥ずかしそうに頬を染めているのだが。

ふと自分の格好を見ると、Ｔシャツにトランクスしか着ていない。そういえば、昨日からもう夏だからと、夏らしい格好で寝ることにしたのだが……季沙には少々刺激が強かったらしい。

少し申し訳ない気持ちになり、気まずい雰囲気吹き飛ばそうと軽い冗談を言ってみることにした。

「……もしかして、季沙ってブリーフ派？」

グーで殴られた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6067e/>

ある晴れた日に

2010年10月18日23時31分発行